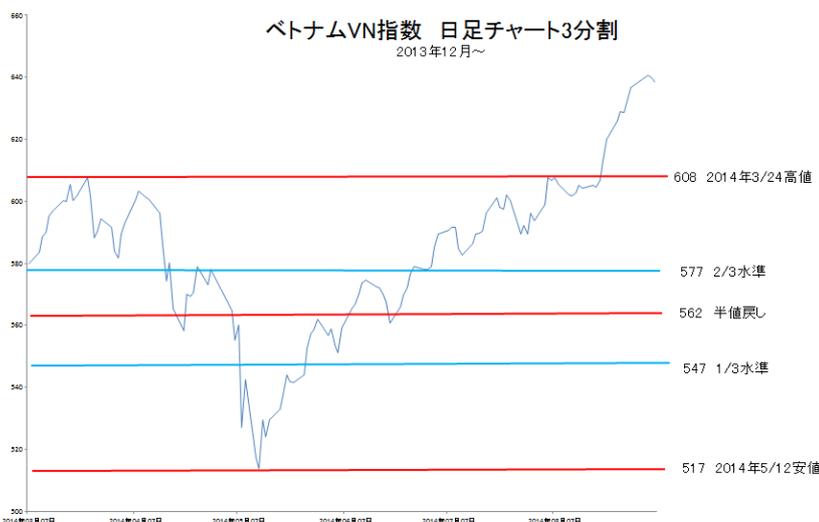




半年ぶりに高値更新した VN 指数の今後の動き

6 年半ぶりの高値

ベトナム VN 指数は、今年前半の高値だった 607.55 ポイント (以下 p と表示) (3 月 24 日終値) を 8 月 5 日に上回り、先週は 640p 台まで上昇しました。VN 指数がこの水準に到達したのは 6 年半ぶりとなっています。



南シナ海で中国との衝突が起こり、一時は 513p まで下落していましたが、その後は大きく反発し、現在 640p 台と 513p から約 25% の上昇となっています。なお今年に入ってからの上昇も約 27% となっています。この上昇率は先進国のそれに比べ大きくなっています。

先進国の主な市場とベトナム市場の今年の騰落率

| | 9月5日終値 少数以下は四捨五入 | 今年の始値 少数以下は四捨五入 | 騰落率 |
|-------------|---------------------|--------------------|---------|
| ベトナムVN指数 | 637 | 505 | 126.14% |
| NYダウ | 17,137 | 16,572 | 103.41% |
| ナスダック | 4,583 | 4,160 | 110.17% |
| ドイツDAX | 9,747 | 9,400 | 103.69% |
| ロンドンFTSE100 | 6,855 | 6,718 | 102.04% |
| 日経平均 | 15,669 | 16,147 | 97.04% |

外国人の保有比率の変更後の動き

さて今年前半ベトナム VN 指数は 4 年半ぶりに 600p 台まで回復しましたが、その原動力は外国人の持ち株比率を緩和するのではないかということでした。現在ベトナム市場は外国人の保有株比率が 49% (銀行は 30%) 以下となっています。この規制を 60% まで引き上げるとというのが今回の緩和措置です。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会

主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.10%(最低手数料800,000ドン)、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。



ベトナム Weekly レポート

このことは4月に来日したディン・ティエン・ズン財務相も「2014年内にも」と発言していますので、国際的な公約といってもいいでしょう。その年内もあと4カ月となりましたので、緩和の発表も秒読みになってきたと言えます。

なお外国人の保有比率が引き上げになるのは今回で3回目です。1回目は2003年で20%から30%に、2回目は2005年で30%から49%にそれぞれ引き上げました。そして前回2005年の引き上げ時期に、VN指数がどのように変化したかが以下の表です。

| 2005年9月 外国人比率引き上げ | | 1カ月後 | 騰落率 | 3カ月後 | 騰落率 | 半年後 | 騰落率 | 1年後 | 騰落率 |
|----------------------|--------|-------|-----|-------|-----|--------|-----|--------|-----|
| VN指数 | 289.33 | 307.4 | 6% | 307.5 | 6% | 503.56 | 74% | 526.73 | 82% |

これを見ると引き上げから3カ月くらいはほとんど動きがありません。しかし半年後には70%以上上昇しています。その後この表にはありませんが、2007年1月にはVN指数は1,100pを突破しました。つまり時間が経つにつれ徐々に上昇幅が大きくなっていったのです。そして最終的には1年4カ月で約3.8倍となりました。

今回は発表がまだとはいえ、今年の1月に今年中に引き上げを行うとアナウンスしたのですから、実質1月が2005年の9月と同じと考えます。そこを起点にどのようにVN指数が上昇するかを検証しました。まず今回はVN指数の水準が500p前後ですので、前回引き上げ発表時の約2倍です。私は今回の上昇率(変化率)を前回の2分の1で考えます。2分の1と想定するのは、引き上げが3回目で、その後の動きをある程度想定できるということと、前回と今回ではスタート時の指数の水準が違うからです。

前は保有比率引き上げ半年後に74%の上昇となりました。今回VN指数は先週640p辺りですので、8カ月で27%上昇したことになります。前回の半年後までの上昇率74%の2分の1で考えると、今回のほうが上昇率が小さいですが、ほぼ同じような上昇となっています。次に前は1年後に82%だったので、今回40%くらい上昇となれば、707pとなります。700p近辺は2007年高値と2009年安値の半値戻し水準(703P)ですし、今年3月から5月までの下落幅の倍返し水準(699p)と同水準です。700p近辺というのは重要なポイントになりそうです。

| 今回1月の発表時 | 1年後(予)のVN指数 | 騰落率 | 1年4カ月後 | 上昇率 |
|----------|-------------|-----|--------|------|
| VN指数 | 505 | 40% | 959.5 | 1.9倍 |

そして前は1年4カ月後に3.8倍となっていますので、今回その半分とすると1.9倍で959.5pとなります。950p台は現時点から見ても50%の上昇です。したがってこの水準までであるとしたらまだ上昇は始まったばかりだと言えます。そして前回はそうでしたが、上昇が始まるとはじめは緩やかに上昇しますが、時間とともに勾配がきつくなり、天井を打つ直前は急激に上げ幅を広げます。

まずは700pを目指し、この水準を突破したら一気に上昇、そして来年の春あたりには950p位まで到達する、というのが私の想定するベトナムVN指数の動きです。そのスタートはいま始まったばかりと言えます。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会
主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.10%(最低手数料800,000円))が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。